

みんなで学ぼう！エシカルクッキング事業

みんなで学ぶ！エシカル教室事業

危機管理環境部 消費者政策課

事業内容

エシカル消費の普及を促進するため、小・中学校生とその保護者を対象に、平成29年度は「みんなで学ぼう！エシカルクッキング」と題し、鳴門教育大学や、イオンテール（株）と連携し、地産地消やフェアトレード商品を活用した料理教室を実施した。平成30年度は「みんなで学ぶ！エシカル教室」と題し、同社協力の下、エシカル消費につながる認証マーク付きの商品について学んだ後、実際に店舗内でマーク付きの商品を確認し、認証マーク付きの商品や地元の食材を使った料理の試食を行い、参加者にフードチェーンを体感してもらった。また、同教室を広島県でも実施した。

事業名	エシカルクッキング	エシカル教室
実施年度	平成29年度	平成30年度
予算	—	2,000千円
消費者行政強化 交付金活用額	—	2,000千円
対象	小学5・6年生、中学生 (親子ペア、子ども同士ペア)	徳島県及び広島県の小・中学生 及び保護者
参加人数	8組16名	徳島県:20名 広島県:21名
宣伝方法	ホームページ掲載	ホームページ掲載、チラシ設置、 報道各社資料提供 等



エシカルクッキングの様子

事業の特徴・ポイント

【エシカルクッキング】

「エシカル消費」と「徳島の豊かさ」への理解をより深めてもらうため、鳴門教育大学プロジェクトチームと連携し、地産地消の食材やフェアトレード商品を活用したエシカルクッキングを実施。

【エシカル教室】

エシカル消費への理解や実践力を高めるため、エシカル消費につながる認証マークを学び、実際に食することを通して、生産から食卓までのフードチェーンを体感。

- (1) 講義「エシカル消費ってなに？」(講師：消費者庁消費者教育・地方協力課課長補佐、徳島県危機管理環境部次長)
- (2) 「エシカル商品・農産物を探そう」イオンモールにてエシカル消費につながる認証マークが付けられている商品を実際にチェックしながら商品の背景を学ぶ
- (3) 「生産から食卓までを体感しよう」認証マークが付いた商品や徳島・広島県産食材を使った料理の試食(小型PRトラック「でり・ぱりキッチン阿波ふうど号」利用)

期待される効果

徳島県産や広島県産の農林水産物の消費推進を図るとともに、エシカル消費への理解や実践力を高める。



エシカル教室の様子

みんなで学ぼう！エシカルクッキング事業

みんなで学ぶ！エシカル教室事業

危機管理環境部 消費者政策課

エシカル消費啓発のために工夫した点・今後の課題等

【エシカルクッキング】

地元の食材の豊かさを実感できるように、主菜・副菜・デザートにフェアトレード商品や県産食材をたくさん使用し、地産地消やフェアトレード商品の活用が実感できるようにした。

【エシカル教室】

- ・実際の売り場で商品が確認でき、エシカル消費と実生活を結びつけることができるようにした。
- ・「座学での学習」→「売り場でのマーク等の確認」→「調理された料理を消費」の学習を体験的に進めることにより、フードチェーンを実感できるようにした。
- ・大人と子どもで同じ資料・説明にしたので、子どもには理解が難しい場合があった。

参加者の反応・感想

【みんなで学ぼう！エシカルクッキング】

- ・エシカル消費について関心が高まりました。 ・身近にできることを見つけ、周りに伝えていきたいです。
- ・もっとエシカル消費について勉強したいです。

【みんなで学ぶ！エシカル教室】

- ・今まで安いものばかりを買っていたが、よく考えて買い物をしたい。 ・これからも学んでいきたい。
- ・エシカルのことや、いろんなマークが分かった。

事業年間スケジュール

平成29年		平成30年					
6月	10月	1月	5月	6月	7月	8月	11月
●会場使用申請		●打合せ（随時）					
●計画書作成		●メニュー決定、チラシ作成					
●食材計画書作成		●広報					
●打合せ・準備		●エシカル教室 開催（徳島）					
●エシカルクッキング開催		●エシカル教室 開催（広島）					

エシカル消費タスクフォースの連携

エシカル教室を開催するに当たり、県庁内に設置した「エシカル消費タスクフォース」の連携により、エシカル農産物を推進している農林部局の協力が得られ、キッチントラック「でり・ばりキッチン阿波ふうど号」を活用してエシカル商品を使用した料理の提供を行うことができた。タスクフォースでの情報交換が、部局を越えて円滑に連携することにつながった。

広島県でのエシカル教室開催

徳島でのイベントを県外にも広げていきたいと考え、広島県と連携し、広島県内のイオンモールでもエシカル教室を実施した。広島県でも「でり・ばりキッチン阿波ふうど号」を活用して、徳島県と広島県の食材を使用した料理を提供し、エシカル消費の普及啓発を行った。